

GIS A

NEWS LETTER

地理情報システム学会ニューズレター

第122号

発行日 ● 2022年6月24日
発行 ● 一般社団法人 地理情報システム学会

目次

会長就任にあたって	1p	収支計算書	5p
第31回研究発表大会のお知らせ	2p	学会からのお知らせ	5p
代議員(社員)総会・理事会報告	4p	学会後援行事等のお知らせ	6p
正味財産増減計算書	5p	委員会・支部・分科会からの報告	6p

会長就任にあたって



地理情報システム学会会長 厳 網林（慶應義塾大学）



このたびの理事会において理事の皆様からご推挙を賜り、地理情報システム学会の会長を拝命いたしました。新型コロナウイルスが始まって、あっという間に2年がたちました。学会運営も皆さんと対面しないまま、3年目半ばに突入しています。1日も早くノーマルに戻るよう願っています。一方、2年前のG空間EXPO学会シンポジウムで皆様が懸念されたように、しばらくノーマルなんか考えずに、ウイルスと共存するニューノーマルになるしかないと言われましたね。あれが現実の中を、やりくりしてきました。幸い、最近、非常事態は解除され、感染者数も下がり続け、社会は一部活気が戻りつつあるように見えます。

このような状況の中、私たちの学会もオンラインを使いながら、理事会、委員会、支部会、分科会の活動をつづけました。学術大会も2年続けて、規模縮小なく、企画セッション、学術発表、ポスターセッションをこなせました。これは大佛前会長を始めとする前理事会の皆様、井上先生をはじめとする大会実行委員会の皆様、会員の皆様、事務局の皆様が丸一となって、頑張ったおかげであります。この場を借りて心より御礼を申し上げます。

これからどうなるか、まだまだ油断できないと思いますが、2年も経験され、ワクチンも受けたので、身体的にもメンタル的にも免疫力がついたのではないかと思います。このままいけば、山場を超えたとし、学会活動がフルに再開できるよう期待しています。会員の皆様、代議員の皆様、支部、分科会の皆様の一層のご協力をお願い申し上げます。

災害があるたびに、みんな「ピンチをチャンスに」といわれます。皮肉なことですが、コロナのおかげで、この間にデジタル化が加速され、オンラインやテレワークが日常になりました。都市において人流などの地理空間データは脚光を浴びました。この波はこれからいよいよ地方にも及び、Society5.0やデジタル田園都市国家戦略に一層コミットすると期待します。かつて1990年代に情報スーパーハイウェイが動き出し、デジタル化が空前のブームでした。当学会もその波に乗り、「空間の情報化」の先頭に立ちました。そのおかげで、学会が急成長し、地理情報社会の発展に大きく貢献できました。そこで蓄積された地理情報コンテンツ、ノウハウ、知恵が今度は、全国津々浦々、生活の隅々に還元され、「情報の空間化」に大活躍するのではないかと思います。そこに会員皆様の活躍が待っているに違いありません。一方、前の「空

間の情報化」は地理空間をデジタル化することで、いわゆる専門化の流れにあったと思います。そこに空間情報を専門とする私たちにはアドバンテージがあったでしょう。対して、今度の「空間の情報化」は、地理情報専門だけでなく、物理空間のさまざまな場面や課題に対する仮想空間と物理空間の統合化の事業であります。それを円滑に進めるためにはさまざまな分野、セクターの方と協力しなければなりません。GISにとってこれまでになかったチャレンジが待ち受けています。幸いに本学会にはもともと多様な知識、分野、興味、関心の会員がおられます。また皆さんが都市から地方までの各地の実問題に近い立場におられます。これらのことを考えれば、本学会にはこれまで以上に活躍するチャンスが巡ってくるに違いありません。それを絶対逃さないように皆さんと一緒に頑張りたい所存でございます。

私自身はもともと中国の測量を専門とする大学、武漢測絵科技大学（現在武漢大学の一部）出身で、測量、地図一筋の人間とも言えます。学生時代や助教の時に、国家基準の千分の1の地形図測量を基準点設置から製図までたくさん経験しました。GISを学んだのは1986年に日本に来てからのことでした。当時、“世の中に新しいものが現れてはまた去っていく。GISはどうなるでしょう”という見方もありました。あれから30年以上が経ち、いまGISはDX（デジタルトランスフォーメーション）のインフラとして、またIoT(Internet of Thing)やIoE(Internet of Everything)、CPS(Cyber-Physical System)やBIM(Building Information Modeling)/CIM(Construction Information Modeling/Management)とも融合し、まだまだ新しい分野の最先端を走り続けています。このことをみれば、GISを学び、GIS学会のお世話になって、本当によかったと思います。本学会には若い学会員もたくさんおられます。確かな先端技術の上に立ち、SDGsで代表されるさまざまな社会課題の解決にも対応できるGISを学んでおくことは、絶対に間違いありません。ぜひともクラスメート、同僚、お友達を誘い、仲間になって、GISAの次の30年に向けて一緒に邁進しましょう。

第31回研究発表大会のお知らせ

第31回地理情報システム学会研究発表大会は、10月29日（土）・30日（日）に開催いたします。

開催方法は、ハイブリッド開催【会場（沖縄県那覇市 沖縄産業支援センター）+ オンライン】、あるいは、オンライン開催のいずれかを検討しております。7月1日（金）までに決定し、学会Webの大会ページでお知らせいたします。

下記の日程で、企画セッションと研究発表（講演およびポスター）の受付を行います。

申込日程

企画セッションの申込期限

7月15日（金）正午

研究発表（講演およびポスター）の申込期間

7月1日（金）～7月15日（金）正午

講演論文集用原稿PDFのアップロード期間

7月1日（金）～8月31日（水）正午

ポスター発表データのアップロード期間

8月1日（月）～10月21日（金）正午

大会参加費

開催方法の決定と合わせて、学会Webの大会ページでお知らせします。

1. 企画セッション

シンポジウム・ワークショップ・ハンズオン・チュートリアル・GIS技術紹介など形式は問いません。1セッション[1時間40分]を単位とし、複数セッションにまたがることも可能です。

個人会員・賛助会員が、セッション企画を提案いただけます。特に、各分科会の成果発表を行うまたとない機会ですので、積極的な企画提案をお願いいたします。

■ 企画セッション申込

受付期間：7月15日（金）正午まで

申込先：井上大会実行委員長宛（rinoue@tohoku.ac.jp）

申込要領：下記の情報をメールでお知らせください。

1. セッション企画名
2. 種類（シンポジウム、ワークショップ、ハンズオンセッションなど）
3. 代表者の氏名、所属、メールアドレス
4. 概要（400字程度）
5. 対面（+配信）開催またはオンライン開催の別
6. 必要セッション数
7. 対面開催の場合、必要機材
8. 想定出席者数

企画の実施可否は、7月29日（金）までにメールでご連絡いたします。なお、開催日時ご希望に添えない場合がございますので、予めご了承ください。

2. 研究発表

講演発表とポスター発表があります。投稿された論文ファイルは、大会用Webサイトで公開します。

なお、ハイブリッド開催の場合は、講演発表は対面・オンラインのいずれかを申し込み時に指定していただきます。両者を分けてセッションを組みますので、申し込み締切後は変更できないことをご了承ください。また、ポスター発表は、過去2年と同様にオンライン発表となります。また今年度も、講演発表・ポスター発表を重複して行うことはできません。

講演発表：地理情報システムに関する理論研究・応用研究の成果で、原則として未発表のものに限ります。また、独創性・完結性がないものの発表は認めません。論文提出が必要です。

ポスター発表: 研究形成段階の討論や調査・活動報告などでも結構です。自由で活発な情報交換の場としてご活用ください。論文提出は必須ではありませんが、提出された原稿は公開します。大会用 Web サイトへのポスターの掲載、ポスター紹介セッションの開催、コアタイムにおけるオンライン会議ツールを活用した質疑応答を予定しています。

講演発表・ポスター発表共に、商業宣伝的な内容は認めません。企画セッションにお申し込みください。

なお、大会での発表後、①「GIS 上級技術者」への申請や、②「測量系 CPD 学習プログラム」への登録が可能です。②については、希望者は大会終了後の当該年度内に、事務局に氏名と発表論題とをお申し出ください。講演・ポスターの発表者に CPD ポイントが付与されます。測量系以外の CPD ポイント付与については、事務局まで個別にご相談ください。

■ 応募資格

- (1) 発表者は、学会の個人会員（正会員・学生会員）、あるいは、賛助会員枠で指定する（1 口につき 1 名）個人に限ります。ただし、共同研究者（連名者）については会員資格の有無は問いません。
- (2) 発表者となるのは、賛助会員枠を含めても 1 名につき 1 題に限ります。ただし、以下の場合は、発表の重複が認められます。
 - ・複数の発表について共同研究者（連名者）となること。
 - ・通常セッションと特別セッションの両方で発表を行うこと。
- (3) プログラムで指定された日時に発表できること。発表日時の指定は受け付けません。また、プログラム編成上の都合により発表総数を制限する場合があります。
- (4) 会員は、2022 年度までの年会費完納者であること。

■ 発表申込と発表用データ提出の手続き

(1) 発表申込

受付期間: 7 月 1 日 (金)～15 日 (金) 正午 (必着)

EasyChair

<<https://easychair.org/conferences/?conf=gisa2022>> で申込を行ってください。

※ EasyChair の利用方法は、学会 Web の大会ページの説明書をご覧ください。

※ 入力された氏名・発表題目を学会 Web の大会ページに掲載します。受付期間終了後の修正は一切受け付けませんので、予めご了承ください。

発表の可否は、7 月 29 日 (金) に学会 Web の大会ページに掲載するプログラムでご確認ください。個別のご連絡は行いません。

(2) 講演論文集用原稿の提出

受付期間: 7 月 1 日 (金) ～ 8 月 31 日 (水) 正午 (必着)

※ PDF 形式の発表論文原稿を EasyChair にアップロードしてください。

※ 作成要領は、学会 Web の大会ページに掲載するテンプレ

ートファイルをご覧ください。なお、2020 年度より「GIS-理論と応用」と同じ書式とし、ページ数の制限を 4 ページ以上 10 ページ以下としています。

- ・ 受付期間外に提出された原稿は一切受け付けられません。発表を取り消させて頂きますので、予めご了承ください。
- ・ 使用言語は日本語または英語とします。
- ・ 発表者に連絡が付きにくい可能性がある場合は、申込の際に確実な連絡先も明記してください。原稿の不備等で連絡を差し上げる場合があります。
- ・ 発表原稿の編集・出版の権利は、地理情報システム学会に帰属します。

(3) ポスター発表用データの提出

受付期間: 8 月 1 日 (月) ～ 10 月 21 日 (金) 正午 (必着)

※ 大会用 Web サイトとオンライン会場 (SpatialChat) に掲載する PDF 形式のポスターデータを、ポスター発表者に後日お知らせする場所にアップロードしてください。また、大会用 YouTube チャンネルに掲載する 1 分程度の説明動画を合わせて受け付けます。(動画の提出は任意)

※ ポスターは、大会用 Web サイトやオンライン会場での配置の都合上、縦長で作成してください。その他、ポスター発表用データに関する作成要領は、学会 Web の大会ページに掲載するご案内をご覧ください。

3. 第 18 回 大会優秀発表賞

学生会員の発表レベル向上を図るため「大会優秀発表賞」を設けています。以下の条件を満たす方が審査対象です。

- ・ 本学会の学生会員であること (2022 年 7 月 15 日までに事務局に入会届が到着した方を含みます。ただし、2022 年度までの年会費完納者)
- ・ 修士号未修得であること
- ・ 講演の発表者であること

研究・論文・発表の内容が優れた発表者を司会者や審査員が推薦し、学会賞委員会の議論を経て受賞者を決定します。受賞者数は特に定めません。

受賞者には賞状を後日送付し、GISA ニュースレター 124 号に氏名と所属を公表します。また、『GIS-理論と応用』Vol.30, No.2 に発表要旨を掲載 (モノクロ印刷のみ) します。

受賞者は 11 月 15 日 (火) 正午までに A4 用紙 1 枚の原稿提出にご協力ください。

4. 第 11 回 ポスターセッション賞

ポスターセッションの議論活性化を図るため「ポスターセッション賞」を設けています。ポスターセッション発表者全員が審査対象です。

受賞者には賞状を後日送付し、GISA ニュースレター 124 号に氏名と所属を公表します。また、『GIS-理論と応用』Vol.30, No.2 に発表要旨を掲載 (モノクロ印刷のみ) します。

受賞者は 11 月 15 日 (火) 正午までに A4 用紙 1 枚の原稿提出にご協力ください。

代議員(社員)総会・理事会報告

■ 一般社団法人地理情報システム学会 第82回理事会議事録 [理事 山本 佳世子]

開催日時: 2022年5月14日(土) 13時00分～13時40分
開催場所: オンライン(ZOOM)開催

理事10名が出席し、定足数を満たして成立した。

議決事項:

第1号議案 2021年度事業報告について

- ・山本理事から、配布資料にもとづき、2021年度の実業報告が行われ、承認した。

第2号議案 2021年度決算と会計監査について

- ・大場理事から、配布資料にもとづき、2021年度の決算と会計監査について説明があり、引き続き小口監事、玉川監事から監査報告がなされ、承認した。

第3号議案 2022年度事業計画について

- ・山本理事から配布資料にもとづき、2022年度の実業計画について説明があり、承認した。

第4号議案 2022年度予算について

- ・大場理事から配布資料にもとづき、2022年度の予算について説明があり、承認した。

■ 一般社団法人地理情報システム学会 第18回社員総会議事録 [理事 山本 佳世子]

開催日時: 2022年5月14日(土) 14時45分～15時05分
開催場所: オンライン(ZOOM)開催

本年度の社員総数50名のうち35名が出席し、9名が議決権書面を提出したことから、本総会は定足数を満たして成立した。

審議事項:

第1号議案 2021年度事業報告について

- ・山本理事から配布資料にもとづき説明があり、満場一致でこれを承認した。

第2号議案 2021年度決算と会計監査について

- ・大場理事から配布資料にもとづき説明があり、引き続き小口監事と玉川監事から監査報告がなされた。満場一致でこれを承認した。

第3号議案 理事及び監事の任期満了に伴う退任について

- ・議長から配布資料にもとづき説明があり、満場一致でこれを承認した。

第4号議案 理事及び監事の選任について

- ・議長から配付資料に基づき説明があり、満場一致でこれを承認した。なお、被選任者は、いずれもその就任を承諾した。

■ 一般社団法人地理情報システム学会 第83回理事会議事録 [理事 山本 佳世子]

開催日時: 2022年5月14日(土) 15時45分～16時00分
開催場所: オンライン(ZOOM)開催

理事10名全員が出席し、定足数を満たして成立した。

審議事項:

第1号議案 会長及び副会長の選任について

- ・会長に厳理事、副会長に山本理事を選任した。

第2号議案 事務局長の選任について

- ・事務局長に中谷理事を選任した。
- ・担当理事を以下のように選任した。なお、被選任担当理事は全員その就任を承諾した。

事務局長補佐: 山田理事 資格担当: 大伴理事

財務担当: 山田理事 総務担当: 大場理事

編集担当: 奥貫理事 学会賞担当: 奥貫理事

広報担当: 河端理事 支部・分科会担当: 貞広理事

大会担当: 井上理事 教育担当: 中谷理事

渉外担当: 山田理事 企画担当: 山本理事

第3号議案 2022年度事業計画について

- ・資料のとおり承認した。

第4号議案 2022年度予算について

- ・資料のとおり承認した。

■ 一般社団法人地理情報システム学会 第19回社員総会議事録 [理事 山本 佳世子]

開催日時: 2022年5月14日(土) 16時45分～17時05分
開催場所: オンライン(ZOOM)開催

本年度の社員総数50名のうち38名が出席し、本総会は定足数を満たして成立した。

報告事項:

報告1 会長・副会長・事務局長の紹介について

- ・厳会長、山本副会長、中谷事務局長が紹介された。

報告2 2022年度事業報告について

- ・配布資料にもとづき説明があり、満場一致でこれを承認した。

報告3 2022年度予算について

- ・配布資料にもとづき説明があり、満場一致でこれを承認した。

正味財産増減計算書

2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日まで

一般社団法人 地理情報システム学会

一般会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	200	1,002	△ 802
受取入会金	200,000	0	200,000
受取会費	12,071,000	12,130,000	△ 59,000
過年度受取会費	75,000	19,000	56,000
事業収益	1,897,706	2,179,306	△ 281,600
大会参加費	628,000	340,000	288,000
刊行物収益	1,104,706	1,704,306	△ 599,600
資格・教育認定事業収益	165,000	135,000	30,000
受取補助金等	38,272	30,000	8,272
雑収益	237,376	1,702,267	△ 1,464,891
経常収益計	14,519,554	16,061,575	△ 1,542,021
(2) 経常費用			
事業費	4,426,622	3,325,858	1,100,764
大会開催費	512,568	486,758	25,810
刊行物制作費	2,540,010	2,151,600	388,410
分科会運営費	8,000	8,000	0
委員会運営費	1,346,044	629,500	716,544
特定寄付	20,000	50,000	△ 30,000
管理費	12,879,711	11,517,029	1,362,682
本部事務局運営費	12,794,752	11,381,607	1,413,145
地方支部運営費	84,959	135,422	△ 50,463
経常費用計	17,306,333	14,842,887	2,463,446
評価損益等調整前			
当期経常増減額	△ 2,786,779	1,218,688	△ 4,005,467
損益評価等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 2,786,779	1,218,688	△ 4,005,467
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 2,786,779	1,218,688	△ 4,005,467
一般正味財産期首残高	71,055,385	69,836,697	1,218,688
一般正味財産期末残高	68,268,606	71,055,385	△ 2,786,779
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	68,268,606	71,055,385	△ 2,786,779

収支計算書

2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日まで

一般社団法人 地理情報システム学会

一般会計

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
特定資産運用収入	0	200	△ 200
入会金収入	0	200,000	△ 200,000
会費収入	12,054,000	12,071,000	△ 17,000
過年度会費収入	0	75,000	△ 75,000
事業収入	2,370,000	1,897,706	472,294
大会参加費収入	360,000	628,000	△ 268,000
刊行物収入	1,350,000	1,104,706	245,294
資格・教育認定事業収入	450,000	165,000	285,000
支部事業収入	210,000	0	210,000
補助金等収入	0	38,272	△ 38,272
雑収入	80,000	237,367	△ 157,367
事業活動収入計	14,504,000	14,519,545	△ 15,545
2. 事業活動支出			
事業費支出	7,645,000	4,426,622	3,218,378
大会開催費支出	1,006,000	512,568	493,432
刊行物制作費支出	2,360,000	2,540,010	△ 180,010
分科会支出	370,000	8,000	362,000
委員会費支出	3,859,000	1,346,044	2,512,956
特定寄附収入	50,000	20,000	30,000
管理費支出	12,722,000	12,051,979	670,021
本部事務局運営費支出	11,885,000	11,967,020	△ 82,020
地方支部運営費支出	837,000	84,959	752,041
事業活動支出計	20,367,000	16,478,601	3,888,399
事業活動収支差額	△ 5,863,000	△ 1,959,056	△ 3,903,944
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
固定資産取得支出	0	1,548,800	△ 1,548,800
投資活動支出計	0	1,548,800	△ 1,548,800
投資活動収支差額	0	△ 1,548,800	1,548,800
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
3. 予備費支出	0	0	0
当期収支差額	△ 5,863,000	△ 3,507,856	△ 2,355,144
前期繰越収支差額	55,612,413	55,710,294	△ 97,881
次期繰越収支差額	49,749,413	52,202,438	△ 2,453,025

学会からのお知らせ

■ 新しい会員専用ページについて (重要)

会員専用ページが新しくなりました。2021 年度以前に設定のパスワードはリセットされていますのでご注意ください。改めてパスワードを設定してご利用ください。

新しい会員専用ページ (Web ページの右上のボタンをクリック) は自身の情報をご自分で確認、変更することができる他、年会費領収書のダウンロードも可能です。また、会員向けのお知らせページもあります。ぜひ、ご覧になってください。

■ 2022 年度 GISA 学会賞募集 (再掲)

2022 年度地理情報システム学会賞 6 部門の募集を行います。学会賞各部門の対象者および提出物の内容、受賞者選考・決定方法等は、以下のホームページでご確認ください。

<https://gisa-japan.org/awards/guideline.html>

募集部門：

「研究奨励部門」(本年 3 月末日時点で 35 歳以下の者)

「学術論文部門」 「ソフトウェア・データ部門」

「教育部門」 「実践部門」 「著作部門」

応募期限：2022 年 7 月 15 日 (金)

提出先：地理情報システム学会事務局

自薦、他薦を問わず、たくさんのご応募をお待ちしております。選考結果は、9 月末日までに応募者各位にご連絡いたします。また、受賞者は、本年 10 月に開催予定の第 31 回研究発表大会で表彰されます。

■ 2022 年度初等中等教育における GIS を活用した授業に係る優良事例表彰について

2022 年度も標記の表彰事業を予定しております。本表彰事業は、実践された事例だけでなく、これから実施する授業計画やアイデア段階のものでも、教材として一定の形をなしているものであれば、ご応募いただけます。また、企業や大学に所属している方でも、小中高等学校の現場と連携しながら、取り組まれた事例などもあると思います。そうした幅広い成果の応募をお待ちしております。

募集要項および過去の授賞については、以下の URL でご確認ください。2017 年度から、受賞者の許可を得られたものについては、資料を公開しております。

<https://www.gisa-japan.org/awards/post-1.html>

応募期間：

2022 年 7 月 1 日（金）～8 月 31 日（水）17：00 必着
表彰（原則各 1 点以内）：

国土交通大臣賞（総合的な観点）

地理情報システム学会賞（GIS の効果的な活用の観点）

日本地図センター賞（地図の効果的な利用の観点）

ESRI ジャパン賞（GIS の教育的な利用の観点）

主催：一般社団法人地理情報システム学会

後援（予定）：国土交通省、一般財団法人日本地図センター、

ESRI ジャパン株式会社、

一般社団法人人文地理学会、日本地図学会、

公益社団法人日本地理学会、毎日新聞社

選定された個人またはグループの代表には、本年 10 月に開催予定の第 31 回研究発表大会内で表彰式を執り行うとともに、事例発表もしていただくことを予定しています。なお、大会がハイブリッド開催の場合、事例発表者の旅費等については主催者側で全部または一部を負担の予定です。

■ IAG' i 2022 (International Association of Geo-Informatics) (予告)

主催：KAGIS（韓国 GIS 学会）

会期：2022 年 11 月 3 日（木）～5 日（土）

場所：韓国（済州）

詳しくは決まり次第、ご案内いたします。

学会後援行事等のお知らせ

■ COSIT 2022 (International Conference on Spatial Information Theory) (後援)

主催：COSIT2022 実行委員会

会期：2022 年 9 月 5 日（月）～9 日（金）

会場：北野工房のまち（神戸市）

詳しくは… <http://cosit2022.iniad.org/index.html>

委員会・支部・分科会からの報告

■ 東北支部研究交流会 開催報告

2022 年 3 月 22 日（火）に東北支部研究交流会をオンラインで開催し、東北地方の大学の研究者や学生から、計 6 件の話題提供が行われました。空間的異質性の分析手法の提案や、夜間光データを用いた水害からの復興過程評価、高校生に対する地理情報科学の教育に関するディスカッション、ディープラーニングを用いた自然環境分析、感染症流行を表現するモデルと人流の関係の分析など、地理空間情報に関する多岐にわたるテーマについて紹介が行われ、約 20 名の参加者を得て活発に議論されました。

■ 若手分科会より

若手分科会では、2018 年度より、秋の大会で「学生フリーテーマ発表会」を企画しています。発表者を学生に限定し、様々な分野の発表を一度に聴けるようにすること、学生の皆さんに学会発表のきっかけを提供することを目指しています。

これまでの成果発表セッションに加え、2021 年度には新たにアイデア段階の研究や GIS 関連の教育上の取り組みに対する意見交換を主目的とした、交流セッションも実施しました。2022 年大会でも「学生フリーテーマ発表会」を企画予定です。発表募集に際しては、学会ホームページやメールニュースなどでお知らせします。

若手分科会へ参加し、分科会の企画・運営に携わりたいという方は、代表の関口(ta-sekiguchi@kpu.ac.jp)までお知らせください。学生だけでなく、企業の方、大学教員など 30 名ほどが参加しています。

■ GIS 資格認定協会より

5 月 14 日に開催されました社員総会にて、今期の GIS 資格認定協会の体制が決まりました。厳代表の下、専門技術者認定、GIS 教育認定活動を進めてまいりますので、皆様のご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

現在、新型コロナ禍により教育、貢献の機会の減少が生じている状況を考慮し、GIS 上級技術者有効期限が 2020 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日の資格者につきましては有効期限を 1 年間延長する措置を行っております。更新に関するご不明な点は事務局までお問い合わせください。

例：

- 有効期限が 2022 年 5 月 31 日までの方は、2023 年 5 月 31 日まで延長されます。
- 更新申請は、失効 3 か月前の 2022 年 2 月 28 日から、失効 3 か月後の 2023 年 8 月 30 日まで受け付けます。

2022 年 5 月末現在の個人会員 1011 名、 賛助会員 50 社

賛助会員

朝日航洋(株)、アジア航測(株)、アドソル日進(株)、(株)インフォマティクス、ESRI ジャパン(株)、NEC ソリューションイノベーション(株)、NTT タウンページ(株)、愛媛県土地家屋調査士会、応用技術(株)、大阪土地家屋調査士会、(株)かんこう、関東中部 G 空間情報技術研究会、(財)岐阜県建設研究センター、九州 GIS 技術研究会、近畿北陸 G 空間情報技術研究会、(株)こうそく、国際航業(株)、国土情報開発(株)、(株)古今書院、GIS 支援センター、GIS 総合研究所いばらき、ジェイアール西日本コンサルタンツ(株)、(株)ジオテクノ関西、(株)ゼンリン、玉野総合コンサルタント(株)、中四国 G 空間情報技術研究会、デジタル北海道研究会、東北 G 空間情報技術研究会、(株)ドーン、長野県 G 空間情報技術協会、にいがた GIS 協議会、日本情報経済社会推進協会、日本スーパーマップ(株)、(財)日本測量調査技術協会、(財)日本地図センター、パンフィックコンサルタンツ(株)、(株)パスコ、東日本総合計画(株)、北海道 G 空間情報技術研究会、(株)マップクエスト、(株)マップル、(株)松本コンサルタント、三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング(株)、(財)リモート・センシング技術センター
自治体会員：経済産業省特許庁、総務省統計局統計研修所、(独)統計センター、長野県環境保全研究所、福岡県直方市

学会分科会連絡先一覧

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ●自治体：小泉和久（千葉県浦安市）
事務局：青木和人（あおきgis研究所）
Tel：050-5850-3290
E-mail：kazu013057@gmail.com ●ビジネス：高阪宏行（地理情報技術研究所）
Tel：03-5379-5601
E-mail：info@georetail.tokyo ●防災GIS：畑山満則（京都大学防災研究所）
Tel：0774-38-4333
E-mail：hatayama@imdr.dpri.kyoto-u.ac.jp ●地図・空間表現：若林芳樹（東京都立大学）
Tel：042-677-2601
E-mail：wakaba@tmu.ac.jp | <ul style="list-style-type: none"> ●FOSS4G：Venkatesh Raghavan（大阪市立大学）
連絡先：嘉山陽一（朝日航洋(株)）
Tel：049-244-4032
E-mail:youichi-kayama@aeroasahi.co.jp ●若手分科会：関口達也（京都府立大学）
Tel：075-703-5428
E-mail：ta-sekiguchi@kpu.ac.jp ●IoTとGIS：巖網林（慶應義塾大学）
Tel：0466-49-3453
E-mail：yan@sfc.keio.ac.jp |
|--|--|

地方支部の連絡先一覧

- | | |
|---|---|
| <p><北海道支部>
支部長：株式会社ドーコン 三好達也
連絡先：NPO 法人 Digital 北海道研究会（内）
Tel: 011-299-8104, E-mail: gisahokkaido@dghok.com</p> <p><東北支部>
支部長：東北大学 井上亮
Tel：022-795-7478, E-mail：rinoue@tohoku.ac.jp</p> <p><中部支部>
支部長：中部大学 福井弘道
連絡先：杉田暁（中部大学）
Tel：0568-51-9894（内線 5714）
E-mail：satoru@isc.chubu.ac.jp</p> <p><関西支部>
支部長：大阪工業大学 吉川眞
連絡先：田中一成（大阪工業大学）
Tel：06-6954-4293, E-mail：gisa@civil.oit.ac.jp</p> | <p><中国支部>
支部長：広島修道大学 川瀬正樹
Tel：082-830-1210, E-mail：kawase@shudo-u.ac.jp</p> <p><四国支部>
支部長：香川大学 野々村敦子
Tel：087-864-2146
E-mail：nonomura@eng.kagawa-u.ac.jp</p> <p><九州支部>
支部長：九州大学 三谷泰浩
Tel：092-802-3399, E-mail：gisaku@doc.kyushu-u.ac.jp</p> <p><沖縄支部>
支部長：琉球大学 町田宗博
E-mail：machida55@grs.u-ryukyu.ac.jp
連絡先：澤岬直彦(NPO 法人沖縄地理情報システム協議会)
Tel：098-863-7528, E-mail：takushi@nansei-m.co.jp</p> |
|---|---|

■ 編集後記 ■

マスクに関しては日本人の同調圧力が言われているものの、徐々にコロナ禍前の日常に戻りつつあります。研究発表大会もハイブリッド開催ができる可能性が高まり、久しぶりに対面でお会いできることを楽しみにしております。一方、オンライン会議の便利さが世に浸透し、技術の普及には何かしらの「契機」が必要なのだな、と改めて感じました。ところで、世界情勢は緊迫した状況が続く、空間情報技術の軍事利用が見え隠れすることに心を痛める昨今ですが、GPS や、情報技術に範囲を広げればインターネットがそうであったように、今後は世界の平和や、持続可能な社会の発展のために活用されていくことを願うばかりです。

吉川 耕司（大阪産業大学）

地理情報システム学会ニューズレター

第 122 号 ●発行日 2022 年 6 月 24 日

■ 発行

一般社団法人 地理情報システム学会

〒113-0032 東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル 4 階
TEL/FAX: 03-5689-7955 E-mail: office@gisa-japan.org
URL: <http://www.gisa-japan.org/>

■ 弥生雑記 ■

学会センタービルの花壇には季節折々の花が咲きます。
この原稿を書いている 5 月下旬は白いホタルブクロが花盛りです。うつむいて咲く花に蜜を入れて光らせると提灯のように美しい、と母に教えられましたが本当でしょうか。幼心に「蜜がおとなしく花の中にとどまってくれるのか？」と疑問を抱いたことを覚えています。
几帳の内に蜜を放って人の姿を浮かび上がらせるのも素敵でしょうが（源氏物語・螢巻）、袋状の花弁越しに光を鑑賞するのも、風流な蜜狩りとなりそうです。
試したことのある方、ぜひ体験談をお聞かせください。

（学会事務局）

